

鳳仙

発行
桐生山鳳仙寺
桐生市梅田町一丁目五八
電話〇七〇三二一一七七
E-mail info@hosenji.or.jp

祠堂新築工事経過報告

祠堂工事内部に取りかかる



祠堂工事は、建物の周りを囲んでいた足場も取り払われ外観が見えて参りました。外壁には白い漆喰いが塗られ、本堂との間には双方の建物を繋ぐ渡り廊下



天井絵

も取り付けられています。7月末日現在、外観の工事が大方終わり内装の工事に取りかかっています。天井には皆様からご寄付をいただいた天井絵が飾られて華やかな様子が伺えます。また、内部の電気工事、



整備中の川

建具や位牌堂棚などが取り付けられよいよ工事も最終段階に入ってきたといえます。また、祠堂の工事に併せて西側の川を整備して川に降りられるようになります。鳳仙寺の川には沢ガニやメダカもいて自然を感じる事ができます。お盆にお参りの際には、お子さんお孫さんも一緒にぜひとも見学いただければと思います。

お元気であった、前筆頭総代の小此木秀夫さんが、2月の始めに急逝され、3月7日に開催された総代会で筆頭総代に推挙された石原でございます。微力ではございますが、鳳仙寺興隆のため努力したいと存じますので、檀信徒の皆様のご協力をお願いいたします。総代をしていただいた方が他界した際、前の方丈様より、引き続き世話人をしてほし

いと言われ、以来25年間世話人を努めており、11年前から総代も兼務しておりますが、近年自分の受け持ち区域内で鳳仙寺の檀家になる方が年々増加しており、

新筆頭総代あつさる

筆頭総代 石原 竹雄

鳳仙寺全体でも檀家さんが急速に増加しております。これは偏に方丈様のお人柄によるところが大きいと思っております。

さて、鳳仙寺では、開山堂、秋葉堂が老朽化し、補修では済まない状態になったため、皆様方のご協力を得て、小本堂、位牌堂を加えた多目的な建物を現在建設中です。姉羽建築士による偽装問題により、建築確認が厳しくなりました。当初の予定より大幅に遅れておりますが、完成し

本堂のトイレがきれいになりました



全体の様子



ボックス内部

6月下旬にお手洗いを改装しました。ご婦人のトイレが混雑する事がありました

が今回、洋式トイレを2つ増やし、全てを洋式トイレに改装しました。全体的に落ち着いた雰囲気になり快適に

祠堂新築の寄付は、皆様のご協力により大変順調に進んでおり、もう少しで完成に近づいております。ありがとうございます。新築になります祠堂に安置する先祖位牌(写真)は、引き続き募集しております。御希望の方は随時受付けておりますので、お申し込

第五回 おばけ寄席

出演 神田 燮山
落語 瀧山 鯉昇
落語 春風亭柳好

会場 鳳仙寺 本堂
桐生市梅田町一丁目五八
〇二七七(三三)一七七

日時 八月三十日(土)
午後七時 開演

本席 二、五〇〇円
当日 二、〇〇〇円
前売り 二、〇〇〇円

※電話予約で前売り料金にて入場できます。

平成二十年 年回表

一周忌	平成十九年
三回忌	平成十八年
七回忌	平成十四年
十三回忌	平成八年
十七回忌	平成四年
二十三回忌	昭和六十一年
二十五回忌	昭和五十九年
二十七回忌	昭和五十七年
三十三回忌	昭和五十一年
三十七回忌	昭和四十七年
四十三回忌	昭和四十一年
四十七回忌	昭和三十七年
五十回忌	昭和三十四年
百回忌	明治四十二年

日曜・祝日の御法事お申込みはお早めにお願いたします。

お支払い当日受付でお願いします。
TEL〇二七七(三三)二〇三三
TEL〇二七七(三三)二〇三三
FAX〇二七七(四〇)一七七一

御詠歌だより
鳳仙寺梅花講では、一緒に御詠歌を唱える講員を募集しております。
毎月第一・第四木曜日
十三時から三時まで
於 鳳仙寺書院

華道教室
毎月第一・第三木曜日
午前十時半から正午まで
於 鳳仙寺書院

練習は、毎月二回地歌舞のおけいこをしております。詳しい日程に

鳳仙寺護持会 会計報告

寺報を利用して報告させていただきます。護持費(鳳仙寺檀家の会費)は年額、一口三〇〇〇円となっており、院号戒名の付いている家は、二口以上のお願いとなっております。

十九年度の護持会費は、四月から八月のお盆までの間に役員さんに願ひし、市外の方は郵便振替にて集めております。未だの方はお盆期間中に本堂で受付しておりますので宜しくお願い致します。墓地掃除代も集金させて頂

〔平成19年度・鳳仙寺護持会・会計報告書〕
平成19年4月1日～平成20年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	7,169,545	本山宗費	1,333,100
H19年度護持会費	3,101,000	下水道保守管理費	80,120
銀行利息入金	13,603	郵便局払込手数料	23,920
		銀行手数料	315
		教区新年会費	20,000
		火災保険共済	46,180
		H19年度婦人会補助金	20,000
		役員花輪代金	10,000
		(支出合計)	(1,533,635)
		次年度繰越金	8,750,513
合計	10,284,148	合計	10,284,148

(繰越内訳=普通預金8,750,513円)

平成20年4月29日

上記の通りご報告申し上げます。

鳳仙寺護持会 総代 石原 竹雄
会計 池田伊佐男

高祖様(道元禪師)を支え、太祖様(瑩山禪師)を育てた 永平寺三世徹通義介禪師七百回御遠忌特別企画

大本山永平寺と 北陸古刹寺院拜登の旅

- 平成20年11月25日(火)～11月27日(木)2泊3日
- 旅行代金 お一人様51,500円
(朝食3回、昼食3回、夕食3回、記念写真代、永平寺・總持寺祖院・大乗寺での献香料を含みます)
- 募集人員 200名
- 申込方法 10月15日(水)までに旅行費を添えて菩提寺にお申込み下さい。

11月25日(火)

7:15 11:50(昼食)12:50
県内各地(高崎)=吉井IC=富山IC=富山=富山IC=金沢西IC=
大乗寺専門僧堂=金沢西IC=金津IC=芦原温泉(まつや千千泊)
14:00 15:30 16:50

11月26日(水)

8:00 9:00 12:30 12:45(昼食)13:50
芦原温泉=金津IC=福井北IC=大本山 永平寺……門前 井の上=
福井北IC=金沢森本IC=白尾IC=比木IC=輪島温泉(ホテル高州園泊)
17:15

11月27日(木)

8:15 8:20 9:20 10:00 11:30 12:00
輪島温泉=輪島朝市=大本山總持寺祖院=能登祭り会館(キリコ会館)
…輪島漆器会館=比木IC=白尾IC=金沢森本IC=吉井IC=県内各地
(昼食)13:30 15:30 20:20

今年、大本山永平寺では永平寺第三世「徹通義介禪師」様の七百回忌の御遠忌法要に当たり、そこで曹洞宗群馬県宗務所主催で今回の参拝旅行が企画

されました。ここで「徹通義介禪師(てつとうぎかいぜんじ)」という方について簡単に紹介いたします。曹洞宗の両祖といえば、道元禪師と瑩山禪師で

ありますが、徹通義介禪師は、永平寺を開いた第一世「道元禪師」に直接師事した弟子であり大本山總持寺を開いた「瑩山禪師」の師匠にあたる両祖と密接な関係を持つ重要な方です。

徹通義介禪師は、努力家で実行力があり日々の修行を完璧にこなしたと言われております。そして最後には永平寺の第三世の住職を勤めるようになり、母親が病に倒れると永平寺を退任し実家に戻り母親の看病に尽くします。当時、出家といえれば親との縁を切り仏門に入り修行に専念するものですが、母親の看病をするためには規律を破らないといけません。

住職の職を退任したと言われています。

退任してからは、母親の看病を二十数年続け最後は看取ったのです。その後、義介禪師は石川県の大乗寺に行き、道元禪師の教えを実践して後世に伝えていくとします。ここで「瑩山禪師」という後に大本山總持寺を開山する偉大なる弟子をもちます。そして、「瑩山禪師」にこの教えを広めて欲しいと最後に託すのです。

この当時の段階では、曹洞宗という名称はありませんでした。道元禪師は「中国の如浄禪師から伝えられた坐禅を実践する正統な仏教だ!お釈迦様から正しく伝えられた仏法なのだ」と言われておりましたが、永平寺で修行している人たちが外部の人たちからどんな教えを実践しているかという宗教的な疑問の声が上がっていました。

坐禅をするから「臨濟宗から分かれた一派なのか」「達磨さまの教えを継いだ日本達磨宗なのか」など。そこで瑩山禪師は「臨濟宗でもない、日本達磨宗で



もない。如浄禪師の佛法を伝えた道元禪師の教えを伝える曹洞宗なのだ」と宣言したそうです。

曹洞宗といえ、道元禪師が脚光を浴びていますが、小さな一宗教であった曹洞宗が全国に広く認められたのは礎を作った「徹通義介禪師」でありますし、曹洞宗という宗派をまとめ広く布教活動に取り組み今のようにな大きな宗派に発展したのは「瑩山禪師」の存在があり、どなたも一人でもいなかったら曹洞宗という宗派は存在しなかったのかもしれない。

今回の旅行では、徹通義介禪師がお勤めになった福井の「大本山永平寺」、そして加賀の「大乗寺」、瑩山禪師が開いた能登の「大本山總持寺祖院」を参拝いたします。ぜひとも皆様のご参加をお待ちしております。

補足 瑩山禪師が開いた能登の總持寺は23年前に大部分焼失しました。その後、横浜市鶴見区に地に移転します。よつ能登は「大本山總

鳳仙寺「写経の会」

第5回写経の会開催のご案内です。今回も、前回に引き続き写経の他に写佛も用意しております。写佛はどなたでも簡単にできるとおもいます。

日常生活のある一時、写経をしてゆったりとした時間を過ごしませんか。

九月二十日(土) 十三時
人数:三十名くらい
参加費:千円
持参品:小筆または、筆ペンでも可・ペンチン
写経用紙(半紙)、手本、簡易硯、墨汁は用意いたします。

◇スケジュール
十三時～

想 十三時十五分、看経・瞑
經 十三時二十五分、写
經 十四時四十五分、読
散 十五時頃 解
日 締め切りは九月十八日まで

付 受



大本山建長寺団体参拝 (桐生仏教会主催研修旅行)

日程:平成20年10月25日(土)
集合時間:午前6時(6時15分出発)
集合場所:桐生市役所前
会費:10,000円
(参拝料・交通費・保険・食事代含む。但し昼食時飲み物別途)
募集人数:200名
切:9月30日(火)
(ただし、定員になり次第締め切ります)
桐生市役所⇒鎌倉…建長寺⇒
⇒横浜…中華街(聘珍樓)